

二枝國際特許事務所



東京オフィス所長

斎藤 健治氏

機能性表示食品など健康増進に関する食品素材や、注目が集まるトレンードの代替肉、今や食卓に欠かせない冷凍・レトルト・インスタント食品などの簡便商材は、どのような着眼点で特許出願されているのか。食品分野において関心が高いカテゴリーの特許戦略を三枝国際特許事務所の東京オフィス所長・斎藤健治弁理士が解説する。

機能性表示食品^①など、成人病を予防する本だけではなく世界各国はどういう出願が増えていますか。

やはり、血压や力高めるものや熱中症、コレステロール、血糖値などを健康診断で引つかれるサプリなどの出願が増えています。今後は、日記事は一面に掲載する項目が正常値に向かう加している。

斎藤 やはり、血压や力を高めるものや熱中症、コレステロール、血糖値を予防食品、筋肉量を高めなど健康診断で引つかれるサプリなどの出願が増えています。今後は、日記事は一面に掲載する

なる可能性が高い（新規性）

がりをみせるのはない占めている。日本で代替要が高まりますか。また、温暖化による肉への注目が高まったの斎藤 まず、
気温上昇に伴い、世の中は最近だが、「肉に近い等以上においしく
の熟中症予防への関心が、ものを作ろう」という取
高く、特許出願数も増え
り組みは以前からあり
てきた。同じ要因で、高
齢者の筋肉量や代謝の減
ていて。先行技術が全く
少を補うような食品・サ
ブリについても研究・開
発が進み、特許出願が増
加傾向にある。特許出願
が限られているため、簡
便な製品が生まれ

か。
「肉と同
な出願のポイントになる
ト食品の出願動向
い」と評
とことですね。
がですか。
の高いも
齋藤　おいしく消費
齋藤　かねてこ
、形成す
者に広く受け入れられる
くの企業で技術
わせや配
＝製品が売れるにつ
行われており、行
おく必要
ながるため、その処方や
レンドといえる
の完成品
周辺に権利化して守る価
立つ分野ではな
りの場合
値があると判断できる。食品では、解凍す
よりも優
このほか、今まで代替肉
味が落ちない、難
れる可能
の素材になりうると考え
い、魚のドリップ

やレトルトの特許は公開されると見て上で判断することになり、法の特許による技術の保護は重要な点だ。また、食品分野は類似製品が数多く存在する市場であるため、権利侵害してまで模倣するケースは少ないが、海外の企業の中には製造法もろんだが、ブランド力の向上や効果的な宣伝をする際に、これから、模倣した安価な製品を日本に輸入するアピールしていくことになる。そこで、出願が目外の企業の中には製造法もろんだが、ブランド力の向上や効果的な宣伝をする際に、これから、模倣した安価な製品を日本に輸入するアピールしていくことになる。そこで、出願が目外の企業の中には製造法もろんだが、ブランド力の向上や効果的な宣伝をする際に、これから、模倣した安価な製品を日本に輸入するアピールしていくことになる。そこで、出願が目外の企業の中には製造法もろんだが、ブランド力の向上や効果的な宣伝をする際に、これから、模倣した安価な製品を日本に輸入するアピールしていくことになる。

良品分野の特許出願」の着眼点 求められる「総合的」なアピール

である技術を少しづつ
ステップアップさせてい
ることが多く、権利化し
ても幅が狭いため他社に
マネをされやすい。この
ためノウハウとして社
内に保持する「スラム
ス」が作られる。二つに二

——抗ウイルスや熱中症、筋肉増強など、社会問題が反映されている印象を受けます。

斎藤 対インフルエンザなどの点で、代替肉に比べてウイルスへの抵抗性を高める免疫に関連しが増えていますか。

た出願は増えている。今 斎藤 代替肉の特許出願は、ある素材の組み合せによって肉に近付けられるため、さらに広たという内容が大部分を

単に広い特許を取得でき
るわけではない。販売分
において、数多くの特許
野は、宣伝や技術の訴求
方法、売り方が販売量に
影響する。このため、現
状では代替肉カゲゴリ一
における特許の出願数は
それほど多くない印象を
受けた。
——では、どのような
場合に特許出願を行う必
性がある。そういう状